

大気質管理に関する論文募集

アブストラクト提出締切: 2023年8月11日

国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)は、大気汚染に関する地域行動計画に関連して、アジア太平洋地域における大気汚染への革新的な取り組みに関する論文を募集します。提出された論文の審査の結果、3本のアブストラクトが選ばれ、正式な論文として発表されます。各著者(またはチーム)には、論文を完成させるために総額3,000米ドルの資金援助が提供されます。アブストラクトは電子メールにてこちらへ。escap-edd-suds[at]un.org ([at]を@に変えてください)

採択された論文の筆頭著者には、タイ・バンコクへの渡航費(国連渡航ガイドラインに基づく)が提供され、2023年9月7日に開催される青空のための国際大気清浄化デーで提案の概要を発表いただくこととなります。著者の判断により、遠隔地からの発表も可能です。採択されたアブストラクトは、2023年12月15日までに最終的なペーパーにまとめ、ESCAPがワーキングペーパーとして発行いたします。

本募集の重点分野は以下の通りです:

1. 都市大気流域を特定するためのリモートセンシングの利用
2. 大気汚染排出のモニタリングとモデリング
3. 大気汚染の長距離輸送とモデル化
4. アジアにおける多量汚染物質曝露による都市および地域の空気質

提出されたアブストラクトの評価基準は以下の通りです:

1. 革新性: 1.革新性: 発展途上国における大気汚染とその管理の分析に革新的なアプローチを提供できるか。
2. 実用性: 論文で提案されている分析と潜在的な提言は、発展途上国における大気質管理政策の改善を支援するために活用できるか。
3. 地域の拡張性: 大気汚染に関する地域行動計画(5-10ページ)の実施を支援できるか。

パンデニア・グローバル・ネットワーク、AERONET、GEMS衛星データ(<https://nesc.nier.go.kr/en/html/datasvc/index.do>)のデータを利用する研究提案は、スポンサーとして優先的に採用されます。

ご不明な点がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。
escap-edd-suds[at]un.org ([at]を@に変えてください)